

Android
 型番: PIX-BR321

本製品はデジタル放送を受信してワイヤレスで送信する機器です。
 Android 端末に専用アプリ「StationTV for Android」をインストールしてテレビを見ることができます。

本書ではデジタル放送をAndroid端末で視聴できるまでの手順を説明しています。かならず本書を読んでから正しく安全に使用してください。また、本書は読んだあと大切に保管しておいてください。

※「StationTV for Android」は「Google Play」からインストールします。

内容品の確認

- 本体 × 1
- AC アダプター × 1
- miniB-CAS カード (使用許諾契約書 添付) × 1
- スタンド × 1
- アンテナケーブル × 1
- ゴム脚 × 4
- LAN ケーブル × 1
- 保証書 × 1
- 無線 LAN に関するご注意 (シール) × 1
- セットアップガイド (本書) × 1

各部の名称と機能

● 前面

- 無線 LAN ランプ: ネットワークの通信状態を示します。
 赤点灯 通電中 緑点灯 無線 LAN 接続中
 赤点滅 システムエラー 緑点滅 リセット完了
- テレビランプ: アプリとの通信状態を示します。
 消灯 アプリ未使用 緑 アプリ使用中

● 底面

- リセットボタン: システムエラーの発生時や本体を初期化したいときに使用します。AC アダプターが接続されている状態で、つまようじなどを使って 10 秒以上押し、無線 LAN ランプが緑に点滅したらリセット完了です。※先が鋭利なものを使ったり、強く押しすぎないでください。
- SSID・KEY: ネットワーク設定に必要な情報です。
- スタンド取り付け穴: 本体を縦置きする場合に、付属のスタンドを取り付けます。

● 背面

- 電源ポート (DC 入力)
- 地上デジタル / BS デジタル / 110 度 CS デジタル混合アンテナ端子 (F 型コネクタ)
- miniB-CAS カード挿入口
- LAN ポート (10BASE-T/100BASE-TX)
- USB-1 (A タイプ): ※ハードディスク接続用です。アプリが録画に対応するまで使用できません。
- USB-2 (A タイプ): ※拡張用です。現時点では使用できません。

1 はじめに確認してください

録画機能の使用には、**StationTV for Android のアップデートと外付けハードディスクを用意してください**

録画機能の利用には、アプリをアップデートしてから外付けハードディスク (市販品) を用意する必要があります。くわしくは下記の製品情報を参照してください。

※録画対応アプリの公開後に StationTV for Android をインストールした場合、アップデートの必要はありません。

製品情報
<http://pixela.jp/pixbr321>

本体は以下の点に注意して設置してください
 以下の点に注意して設置してください。

- デジタル放送の視聴は、本製品の電波が届く範囲内で可能です。
- 受信する場所によっては映像が乱れたり、受信できなかったりする場合があります。
- 電子レンジやラジオなどの電波を発生する機器の近くでは、映像が乱れる場合があります。

本製品とルーターを接続してください
 番組表の表示や録画の登録にはインターネット環境が必要です。本製品とルーター (または無線ルーター) を接続してください。

お使いのアンテナはデジタル放送に対応していますか?

- 地上デジタル放送を受信するには UHF アンテナが必要です。
- BS / CS デジタル放送を受信するには対応のパラボラアンテナの設置が必要です。

※マンションなどの集合住宅にお住まいの場合や、共同受信施設の場合は、管理者または管理会社にお問い合わせください。
 ※ケーブルテレビで受信する場合、デジタル放送に対応していればアンテナの設置は不要です。放送方式がバスルー方式であることを確認してください。

2 本体の置き方を決める

平置きの場合
 ゴム脚を本体底面に貼り付けます。

注意

- かならず付属のゴム脚を貼り付けてください。ゴム脚を貼り付けずに設置すると、放熱が不十分になり、本体の変形や故障を引き起こすおそれがあります。
- 本体の上に物をのせないでください。放熱が不十分になり、故障や変形の原因になるおそれがあります。

縦置きの場合
 スタンドを取り付けます。

縦置きにする場合は本体側面のシールに記載されている KEY をあらかじめメモしておいてください。裏面のネットワークの設定が必要になります。

「カチッ」となるまでスタンドをスライドさせる

注意

確実にスタンドを取り付けてください。取り付けが不十分な場合、本体が脱落して破損や故障するおそれがあります。

3 本体と付属品をつなぐ

1 miniB-CAS カードを台紙から取り出して、本体にさし込みます。

挿入口の突起部分と、カードの端がそろうところまで止める

「miniB-CAS」と書かれた面が上

切り欠きが手前

注意

- miniB-CAS カードは、挿入方向が決まっています。さし込みすぎか、さし込み不足、向きが逆にならないようご注意ください。
- miniB-CAS カードの取り出し方: 抜くときは指でつまむか、ピンセットなどでカードを傷つけないようにして引き出してください。また、miniB-CAS カードを抜きさすときは、AC アダプターをコンセントからはずしてから行ってください。

2 LAN ケーブルをルーターや LAN 用ハブなどの LAN ポートと接続します。

LAN ケーブルをルーターや LAN 用ハブの LAN ポートに接続します。

LAN ポートがない無線ルーターをお使いの場合
 裏面の初回設定を完了してから、アプリの動作モードとパソコンのネットワークの設定を再設定する必要があります。くわしくは裏面を確認してください。
 ※ネットワークに接続しない (LAN ケーブルなし) でテレビの視聴はできますが、インターネットの同時利用ができないため、番組表や予約録画機能など一部の機能が使えません。

3 外付けハードディスクを接続します。

録画機能の利用には、アプリをアップデートする必要があります。くわしくは下記の URL を参照してください。
<http://pixela.jp/pixbr321>

外付けハードディスクを用意してください。本製品で録画するには、外付けハードディスクが必要です。録画するときはかならず接続しておいてください。また、本製品で使用できるハードディスクは容量が 2TB 以下のものに限り、動作確認済みハードディスクについては弊社ホームページを参照してください。

動作確認済みハードディスクについて <http://pixela.jp/wl HDD>

※ハードディスクの使い方や使用上の注意については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

4 アンテナケーブルを接続します。

アンテナケーブルの芯を曲げないように注意する

ネジがある方を本体側に取り付ける

アンテナ端子 (地上・BS・CS)

※BS / CS パラボラアンテナへの電源供給には対応していません。市販の電源供給器などを利用してください。

壁面のアンテナ端子が分かれている場合
 壁面のアンテナ端子が、地上デジタル放送と BS / CS デジタル放送で分かれているときは、混合器 (市販品) を使って接続してください。

別途、アンテナケーブルを 2 本と混合器 (市販品) を用意してください

テレビも同時に接続する場合
 ご使用になる環境に合わせて、市販のアンテナケーブルや、分配器などを用意してください。

別途、アンテナケーブルを 2 本と分配器 (市販品) を用意してください

※壁に混合アンテナ端子 (UHF・BS・CS) が複数ある場合は分配器は不要です。くわしくは、お近くの電器店などにお問い合わせください。
 ※分配器を使用すると、受信感度が低下する場合があります。

5 AC アダプターを、①本体側、②コンセント側の順に接続します。

① 本体側、② コンセント側の順に接続します。

手順の途中で AC アダプターをつないでしまった場合
 AC アダプターはかならず最後に接続してください。先に接続してしまった場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて、再度さし込んでください。

4 StationTV for Android をインストールする

Google Play で専用アプリ「StationTV for Android」をインストールします。アプリのインストールには Google アカウントが必要です。あらかじめ登録しておいてください。



- Android 端末のアプリ一覧から [Play ストア] をタップします。→「Google Play」が表示されます。
- 画面右上の **Q** をタップします。
- 「ピクセラ stationtv」と入力し、検索を開始します。



- 「StationTV for Android」をタップします。

- 「インストール」をタップします。→インストールが開始されます。インストールが完了したら、アプリ一覧に StationTV が表示されていることを確認してください。

5 ネットワークの設定

- Android 端末のアプリ一覧から [設定] をタップします。
- [Wi-Fi] をタップして [ON] にします。
- Wi-Fi のネットワーク一覧から、本体に記載されている「SSID」と同じ文字列をタップします。



SSID は使用する周波数 (2.4GHz / 5.2GHz) によって異なります。お使いの Android 端末が両方の周波数に対応している場合は、5.2GHz の使用を推奨します。

- 本体に記載されている「KEY」の文字列を入力します。



- [接続] をタップします。

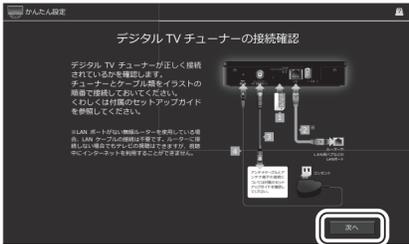


ネットワーク名の下に「接続済み」と表示されたら接続は完了です。

6 アプリの初回設定

- Android 端末のアプリ一覧から **StationTV** をタップします。→初回設定の画面が表示されます。

- [次へ] をタップします。



- もう一度 [次へ] をタップします。

→チューナーの検索が開始されます。

チューナーが見つからなかった場合

本体とケーブル類の接続やネットワークの設定に問題がないか確認してください。解決できないときは画面右上の **?** をタップしてヘルプを参照してください。

- 検索が完了したら [次へ] をタップします。→チャンネルスキャン画面が表示されます。
- [ご利用の地域] をタップして、地域を選択します。
- [スキャンする放送波] をタップして、放送波を選択します。

- [スキャン開始] をタップします。→チャンネルスキャンが開始されます。完了するとスキャン結果が表示されます。

- アプリ上のチャンネル一覧で表示するチャンネルにチェックを入れます。(この設定は後から変更することもできます)

- [視聴へ] をタップします。→視聴画面が表示されます。

ハードディスクの初期化

録画対応のアップデート済みアプリでは、ハードディスクを接続している場合、初期化のメッセージが表示されます。初期化を開始してください。

注意

本製品とルーターを無線 LAN で接続するには、動作モードの変更が必要です。

初回設定を完了してから、動作モードを「ST モード」に変更する必要があります。くわしい操作方は StationTV のヘルプを参照してください。



設定がうまくいかない場合

StationTV のヘルプまたは、弊社ホームページの製品情報に記載している Q&A を参照してください。

製品情報： <http://pixela.jp/pixbr321>

本製品についての質問や修理などのご相談は **ユーザーサポートセンター** にお問い合わせください

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231 (フリーダイヤル)

受付時間
10:00 ~ 18:00
(年末年始と祝日を除く)

■携帯電話をご利用の場合はナビダイヤルにかけてください ■フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は FAX でお問い合わせください

0570-064-246 (通話料がかかります)

FAX 06-6633-2992 (通信料がかかります)

安全上のご注意

本書では、本製品を安全にお使いいただくために、かならず守っていただきたい事項を以下の表示と図記号で説明しています。

警告表示

誤った取り扱いによって生じる危害や損害の程度を以下の表示で分類しています。

警告 死亡または重症を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。

注意 障害を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。

図記号

守っていただく内容の種類を示しています。

禁止事項 (してはいけないこと) を示します。 **順守事項 (かならずすること)** を示します。

警告	
本製品の分解・改造は絶対しない。 火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。また、無線機器を分解して使用すると、法律で罰せられることがあります。	
以下のような場所には設置しない。 <ul style="list-style-type: none">直射日光が当たったり高温になったりする場所熱器具の近くなどで高温になる場所風通しの悪い場所水や潮気などがかかる場所ほこりや、湿気、油煙の多い場所可燃性、爆発性、引火性のガスがある場所粉じんが発生する場所振動や衝撃のある場所傾斜しているなどで不安定な場所船舶や自動車などの乗り物の中小さなお子様の手が届く場所 火災や故障、感電および転倒や落下などによるけがの原因になるおそれがあります。	
かならず家庭用コンセント(100V)で使用する。 たこ足配線などコンセントや配線器具の定格を超える使い方をする、発熱して火災の原因になるおそれがあります。	
何か異常が起こったときに、すぐに AC アダプターを抜けるように設置する。 異常が発生したときに通電し続けると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。	
以下の場合、本体に触れずに速やかに AC アダプターをコンセントから抜く。 <ul style="list-style-type: none">異音、異臭、煙が出ているとき本体および AC アダプターが故障、破損しているとき内部に液体や異物が入ったときAC アダプターが異常に熱いとき そのまま使用すると、火災および感電の原因になるおそれがあります。AC アダプターを抜くときは、やけどをしないように注意してください。	
本製品を濡らしたり、濡れた手で触れたりしない。 故障および感電の原因になるおそれがあります。	
故障や事故によるけがを防ぐため、以下のことを守る。 <ul style="list-style-type: none">内部に指や物を入れない熱器具に近づけたり、破損させたりしない水につけたり、濡らしたりしない重い物をせたり、強い衝撃を与えたりしない上に物を被せたりして本体の通風孔をふさがない 火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。	
他者の安全を守るため、以下のような場所では使用しない。 <ul style="list-style-type: none">心臓ペースメーカーや補聴器の近く病院内や医療用電子機器がある場所無線機器の使用が禁止されている場所火災報知機や自動ドアなど自動制御機器の近く高精度の制御や微弱な信号を扱う機器の近く 本製品の電波の影響を受け、誤作動による事故の原因になるおそれがあります。	
AC アダプターの取り扱いには以下の事項を守る。 <ul style="list-style-type: none">本製品に付属の AC アダプターを使用するAC アダプターはコンセントに確実にさし込む抜くときは、かならず AC アダプターのアダプター部分を持つプラグ部分のほこりや汚れは定期的に掃除する 誤った取り扱いをすると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。	
AC アダプターを傷つけたり加工したりしない(無理に引っ張る・曲げる・ねじる、重い物をのせる、ドアなどで挟むなど)。 また、傷んだ場合は使用しない。 火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。	
使用中は本体や AC アダプターに長時間触れない。 やけどの原因になるおそれがあります。	
雷鳴が聞こえたときは、すぐに使用を中止し、本製品に触れない。 感電の原因になるおそれがあります。	
屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する。 けがや感電の原因になるおそれがあります。	

注意

本製品の AC アダプターを別の用途に使用しない。また、別の製品の AC アダプターを本製品に使用しない。
火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

本製品を移動するときは、接続している配線をすべてはずす。また、輸送中にぶついたり落としたりしないように注意する。
転倒や落下により故障やけがの原因になったり、ケーブルの端子が破損したりするおそれがあります。

長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いておく。
AC アダプターのプラグ部分にほこりがたまる、火災および感電の原因になるおそれがあります。

本体内部の掃除は株式会社ピクセラのユーザーサポートセンターに依頼する。
内部にほこりがたまる、火災および感電の原因になるおそれがあります。3年に1回を目安に株式会社ピクセラのユーザーサポートセンターに内部の清掃を依頼してください。

使用上のご注意

本書について

- 本書では「ワイヤレス テレビチューナー」を「本製品」または「チューナー」と表記しています。
- 本書では地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。
- 本書では 110 度 CS デジタル放送を「CS デジタル放送」と表記しています。
- 本書で使用する画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書に記載されていない操作方法については、アプリのヘルプを参照してください。

本製品について

- 本体に貼ってあるシールは、はがさないでください。
- BS / CS パラボラアンテナへの電源供給には対応していません。市販の電源供給器などを利用してください。
- データ放送の受信には対応していません。
- 有料チャンネルを視聴するには各放送局との契約が必要です。契約については、各放送局にお問い合わせください。
- Bluetooth および USB 接続の音声機器への出力には対応していません。
- 本製品は 2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、電子レンジ等と電波干渉を起こす場合があります。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用に設計・製造されています。人命に関わったり、高度な信頼性が必要な設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されていません。
- 本製品および本製品のパッケージ(緩衝材を含む)を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

miniB-CAS カードについて

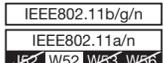
- miniB-CAS カードは番組の著作権保護などのためデジタルテレビ放送の視聴に必要な IC カードです。miniB-CAS カードがないとデジタル放送を見ることができません。
- miniB-CAS カードは必要のないかぎり本体から抜かないでください。
- 本製品の AC アダプターが接続されている状態でカードを抜くと、デジタル放送を受信できなくなる場合があります。miniB-CAS カードを本製品から取り出す必要があるときは、本製品の AC アダプターをコンセントから抜いた後に取り出してください。また、取り付けるときは、miniB-CAS カードをさしてから AC アダプターを接続してください。
- miniB-CAS カードを紛失・破損などした場合は、miniB-CAS カードの台紙に記載しているカスタマーセンターにお問い合わせください。

電波について

- 本製品と同梱の無線 LAN に関するご注意(シール)をよくお読みください。
- 本製品は 2.4GHz 帯および 5.2GHz 帯の電波を使用しています。本製品の使用周波数帯では、同じ周波数の無線機器や、電子レンジなどの電子機器、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合、速やかに本製品の使用を中止してください。
- 本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など、何かお困りのときは、株式会社ピクセラのユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
- 本製品と通信機器との通信距離は、使用環境(建物の構造・材質・障害物、設置状況、電波状況など)により異なります。また、映像にノイズが入ったり、通信できなくなったりする可能性があります。
- IEEE802.11a/n(W52)は 5.2GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11a/n(W52)の電波を屋外で使用することは電波法で禁止されています。屋内で使用してください。



- ①使用周波数帯域が2.4GHzであることを表します。
- ②変調方式がDS-SS方式/OFDM方式であることを表します。
- ③想定干渉距離が40m以下であることを表します。
- ④全帯域を使用し、かつ「構内無線局帯域」を回避できることを表します。



- W52 (5.2GHz 帯 36、40、44、48ch) が利用できます。

商標

- StationTV は株式会社ピクセラの登録商標です。
- Android および Play ストア、Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他の本書に記載している社名および商品名は、各社の商標、登録商標、および商品です。
- 本書では (R) および TM などの商標マークは省略させていただきます。

製品仕様

接続方式	IEEE 802.11a/b/g/n
周波数帯	2.4GHz 帯 / 5.2GHz 帯
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	最大 19W
受信放送	地上デジタルテレビ放送 (ISDB-T)、ケーブルテレビ (C13 ~ C63) / スループット対応、BS デジタル放送 (ISDB-S)、110 度 CS デジタル放送 (ISDB-S)
インターフェース	地上デジタル / BS デジタル / 110 度 CS デジタル混合アンテナ端子 (F 型コネクタ)、miniB-CAS カード挿入口、LAN ポート (10BASE-T / 100BASE-TX)、電源ポート (DC 入力)、USB (A タイプ) × 2 (外付けハードディスクドライブ用 / 拡張用)
対応ハードディスク容量	最大 2.0TB
外形寸法	スタンドあり：約 85 mm (W) × 150 mm (D) × 180 mm (H) スタンドなし：約 170 mm (W) × 150 mm (D) × 35 mm (H) (突起部を除く)
質量	約 310 g
使用温度範囲	温度：5 ~ 35℃ 湿度：10 ~ 80% RH (結露なきこと)

- 本製品は技術基準適合証明を受けた特定無線装置を内蔵しています。
- 本製品は、社団法人電波産業会 (ARIB) が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信機を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)
- 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。